

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「私たちは、信頼できる人とのかかわりの中で、一人ひとりの尊厳を守り、安心できる生活を提供いたします」職員全員でつくった理念です。</p> <p>『信頼できる人とのかかわり』『尊厳を守り』『安心できる生活』は地域の方の理解と協力が不可欠ではないかと考えております。</p>	<p>・平成21年4月に職員全員で運営理念を見直し、再構築している。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・全職員で考えた理念であり共有している。</p> <p>・毎日、申し送り時に理念を唱和し実践に向けて取組んでいる。</p>	<p>・理念は職員全員が目指すものである事を理解し、毎日唱和することで理念に基づいたケアを実践していきたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・ホール内や事務所の見やすい場所に掲示している。</p> <p>・広報誌に掲載し、家族や地域に配布している。</p> <p>・運営推進会議で理解して頂くように説明している。</p>	<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。</p>	<p>・職員2名がキャラバンメイトとなり、地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を実施している。</p> <p>・散歩の時やゴミ出しの時など、地域の方には、職員自ら挨拶をするように心がけている。</p> <p>・地域の神社のお祭りや盆踊り大会、敬老会などに参加している。</p> <p>・近所の方の葬儀に参列している。</p> <p>・運営推進会議を開催し、町内会長や民生委員と意見交換をしている。</p> <p>・地域の中学生のボランティアを受け入れている。</p>	<p>・小学校、中学校を対象とする認知症サポーター構成講座を実施し、気軽にホームに来て頂けるような環境を作って行きたい。</p> <p>・地域住民を対象とする認知症サポーター養成講座の回数を増やすなど、地域住民とのかかわりの回数を増やして行きたい。</p> <p>・地域とのかかわりに対する職員の意識を高める勉強会を行いたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価と外部評価について勉強会を開催し、説明している。</li> <li>職員ミーティングで、結果を共有し、改善に向けて話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員一人ひとりが、自己評価を行うことで、業務の見直しだけでなく、ケアやホーム運営などの総合的な視点で判断をする材料として活用していきたい。</li> <li>外部評価結果を納得できるように説明した上で、改善に向け全職員で検討し実施していきたい。</li> </ul>
6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議で話し合い、サービスの質の向上に生かしている。(ご家族様、地域住民の方の行事参加を増やす取り組み、認知症サポーター養成講座)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議で出た意見については職員会議で話し合っているが、運営推進会議の内容について、全職員に周知していきたい。</li> </ul>
7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット変更時や広報誌発行時に配布している。</li> <li>こちらから役場へ出向き情報交換を行ったり、電話で相談したり、積極的に機会作りをしている。</li> <li>認知症サポーター養成講座を通じて、情報交換を行っている。</li> <li>南部町グループホームネットワーク会議へ出席して頂き、情報を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>権利擁護や成年後見制度に関する勉強会を実施しているが、実際に活用した事例はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の事例などを含めた勉強会を実施し、啓発、防止に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して取組んでいきたい。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
10	契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・その都度十分な説明を行い、理解した上で、契約書に署名、捺印をして頂いている。 ・退所時には退所先への情報提供を詳細に行っている。	・利用者様やご家族様の立場に立って考慮し、説明・対応していきたい。
11	運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・直接職員へ話したり、事務所で管理者へ話す場面もあり、日常生活の中で話す機会を設けている。 ・個人記録で利用者が話した事を記載し、職員全体で情報の共有をし、職員会議、カンファレンスにて対応策を検討している。	・継続して取組んでいきたい。
12	家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月、生活の様子やホームからの連絡事項などを記載したホーム便りを作成し報告している。 ・健康状態や生活状況は面会時に話している。 ・体調不良時は電話で連絡し説明を行っている。 ・金銭管理に関しては、毎月使用明細を作成し、領収書を添付し報告している。	・継続して取組んでいきたい。
13	運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・玄関に苦情箱と用紙を設置し、家族へも説明している。 ・外部の窓口に関しては、重要事項説明書に記載し契約時に説明している。	・運営推進会議でご家族様が欠席した時などでも、意見が反映できるような体制作りを行っていきたい。
14	運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・毎月1回職員会議を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。(無記名アンケート方式)また、それに基づき全員で検討し実践している。	・継続して取組んでいきたい。
15	柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・行事や医療機関の受診の際などは、勤務時間の変更を行っている。 ・急変などの緊急時には看護師の勤務調整を行い対応している。	・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>16 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・担当職員が変更する時には、書面にて引継ぎを行っている。</p> <p>・新しい職員を配置した時には、必ず自己紹介をし、1日を通してコミュニケーションをとる時間を作っている。</p>		<p>・配置換えは無いが、離職者を少なくする対策(職場環境)を継続して実施していきたい。</p>
<p><b>5.人材の育成と支援</b></p>			
<p>17 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・処遇委員会が勉強会の年間計画を立てている。</p> <p>・全職員が勤務として外部研修に参加できるような体制を作っている。</p> <p>・外部研修後、勉強会にて伝達し、実践に生かすようにしている。</p>		<p>・外部研修や勉強会などを通じてスキルアップをすることにより、職員一人ひとりが社会人として自立できるような体制を作っていきたい。</p>
<p>18 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・他のグループホームと合同で行事を行っている。</p> <p>・他のグループホームの勉強会や夏祭りなどに積極的に参加している。</p> <p>・南部町グループホームネットワーク会議を2ヶ月に1回開催し、情報の共有を行っている。</p> <p>・他の施設職員の交流を深める為に、年に数回、職員が参加できる交流会を企画している。</p>		<p>・南部町のグループホーム全事業所の職員が参加できる勉強会を開催予定。</p>
<p>19 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・運営者は定期的にホームへ来て、ホーム内外の環境づくりに参加している。</p> <p>・職員一人ひとりに声をかけ、のコミュニケーションの時間を大切にしている。</p> <p>・親睦会などを行っている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>20 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・定期的にホームへ来て、職員の勤務状況を把握している。また、職員が働きやすい環境を作るように配慮している。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
21	<p>初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		<p>・サービス利用の相談があった時には、直接家族と話し合いを行っている。</p> <p>・ご家族様の思いを的確に判断するために、書面にて情報を頂いている。</p> <p>・早急に入所を希望し、当ホームが満床の場合は、空いている事業所を探し、紹介するように対応している。</p>
22	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		<p>・相談時のニーズを把握し、どのようなサービスが必要か判断している。</p> <p>・他のサービスが必要な時には、担当ケアマネージャー等と相談し対応している。</p>
23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		<p>・サービスを利用するにあたり、利用者や家族に説明し納得の上で、生活状況や人間関係などのアセスメントを詳細に行っている。</p> <p>・安心して生活に馴染めるように、交流の場を設けたり見守りを行っている。</p> <p>・担当職員を設け、責任を持って対応できるようにしている。</p>
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		<p>・生活支援を重視した取り組みにより、共に生活する一員として入居者様より学ぶ事も多く、互いに支え合い喜怒哀楽を共感できる関係にある。</p>

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・行事への参加を促したり、面会時に話しをしたり、電話で情報を共有するなど、同じ視点から一緒に支え合う関係を築いている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
26	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>・入居時や入居後にエコマップを作成するなど、関係性について詳細にアセスメントを行っている。</p> <p>・毎月ホーム便りにて生活の様子を伝えている。疎遠のご家族様に対しては、行事への参加や面会などを書面にて促している。</p> <p>・病院受診の際に家族に付き添いを依頼したり、極力面会の機会を増やすようにしている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
27	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・入居時や入居後に馴染みの人や場所をアセスメントし、把握している。また、場所や人を写真に撮り、情報を共有している。</p> <p>・ご家族や知人が面会に来た際には、記念撮影を行っている。</p> <p>・年賀状や暑中見舞いを出している。</p> <p>・自宅や自宅付近へドライブに出かけたりしている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
28	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>・ケース会議や職員会議の中で、入居者様の関係性を把握し、お互いが支え合う環境づくりを実践している。</p> <p>・日々の生活の中で役割や生きがいを持ちながら生活できるように支援している。</p> <p>・トラブルになりそうな時には、職員が対応し、良好な関係が保たれている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
29	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>・困った事あれば、管理者が窓口になり相談に応じる事を退所時に説明している。</p> <p>・入院退院後の処遇について、施設を紹介するなどの対応をしている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1.一人ひとりの把握</b>			
30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター方式にてアセスメントを行い、利用者様の言動からニーズを把握して、本人の立場に立ったケアプランを作成している。</li> <li>・ニーズの把握が難しい方は、職員全員で話し合い、ニーズを引き出している。</li> <li>・利用者様の言葉を毎日記録し、情報を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
31	これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居時に家族へ説明し、出来るだけ利用者のライフスタイルを把握できるように情報収集を行っている。</li> <li>・必要に応じて面会時や電話にて、その都度情報収集を行い、職員間で共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
32	暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活状況を記録し、職員が情報を共有している。また、申し送りをすることで、総合的に把握するように努めている。</li> <li>・アセスメントに基づいた生活支援等の活動を通じて、入居者様の能力の把握に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更に詳細にアセスメントを行い、できない事への支援を適切に行っていききたい。</li> </ul>
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月毎に担当職員がセンター方式によるアセスメントを行い、カンファレンスにおいて、意見・情報交換をし、個別に介護計画を作成している。</li> <li>・面会時や、ケアプラン説明時に家族から意見を聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ヶ月毎に評価をし、ケアの見直しをしている。</li> <li>・3ヶ月毎にアセスメントをして介護計画を見直しているが、状態やニーズに変更があった時には会議の中で検討し、その都度新しい介護計画を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>35</p> <p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・毎日の生活の様子や気づきを具体的に記録し、情報を共有している。</p> <p>・その情報を基に、アセスメントを行っている。</p>		<p>・気づきに対する記録が少ない事もあるので、確実に記載するように意識付けを行っていきたい。</p>
<p><b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>			
<p>36</p> <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・家族が受診の付添いや外出に対応出来ない時には、職員が付添って支援している。</p> <p>・家族の介護の負担を軽減するため、訪問診療を行っている。また必要時には訪問看護を利用している。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p><b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b></p>			
<p>37</p> <p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>・利用者様の意向に応じて、地域の図書館を利用している。</p> <p>・消防隊員の指導のもと、消防訓練を実施している。</p> <p>・中学生のボランティアを受入れ、交流を深めている。</p> <p>・行事などを通じて、園児との交流を深めている。</p> <p>・生活保護受給の利用者様については、福祉事務所担当者と協力して支援している。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>38</p> <p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>・移送サービスの相談など、必要に応じて情報交換を行っている。</p> <p>・他のケアマネジャーや事業所と日常的に連絡を取れる体制にある。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>39</p> <p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>・認知症サポーター養成講座などを通じて、気軽に相談できる連絡体制がある。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居時に状況を確認し、利用者様や家族が希望する医療機関に受診できるようにしている。 ・協力医療機関やかかりつけ医にはその都度相談できる体制である。		・継続して取組んでいきたい。
41 認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・協力医療機関に認知症専門医を確保している。また、いつでも相談できる体制である。		・継続して取組んでいきたい。
42 看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・常勤で看護師を配置し、日常的な健康管理と相談ができる体制である。 ・24時間オンコール体制をとっている。		・継続して取組んでいきたい。
43 早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院先の病院と電話で連絡を取ったり、お見舞いの際に看護師やソーシャルワーカーより状況を確認し、家族と連絡を取っている。また、病院から家族へ連絡があった時には直ぐに連絡を頂くように話している。		・継続して取組んでいきたい。
44 重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した場合や終末期における対応の指針を掲げ、家族の意向を踏まえた上で方針を決定している。		・継続して取組んでいきたい。
45 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・事例は無いが、体制は整えている。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・入所後しばらくの間は頻繁に面会に来てもらったり、自宅で使用していた慣れ親しんだ物を使用するようにしている。 ・本人の表情や行動を観察し、すぐに対応できるように心がけている。		・継続して取組んでいきたい。
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
47 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・一人ひとりの尊厳を守ることを理念に掲げ、実践している。 ・入浴介助やトイレ介助の際には羞恥心に配慮している。 ・記録等の個人情報は設置場所を決めプライバシーに配慮している。		・継続して取組んでいきたい。
48 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・強制ではなく、自分で決める事が出来る場面を作ったり、声がけを行い、自己決定を促している。		・継続して取組んでいきたい。
49 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入居時に馴染みのある生活をアセスメントしている。 ・毎日の生活スタイルを記録し、個別に把握している。 ・個別に日課の目安となる時間は決まっているが、食事や入浴時間、外出など一人ひとりのペースで生活できるように支援している。		・継続して取組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
50 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・個別に化粧水や乳液を準備し、いつでも使えるようにしている。 ・馴染みのお店で衣類が買えるように支援している。 ・髪を染めたい方には、支援をしている。 ・訪問理美容を行っているが、希望があればお店に行くことも可能である。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者 と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・個々の能力に応じた食事の準備(切る・火を使う・盛り付ける・味付け)や後片付けを個別にアセスメントし、見守りをしながら一緒に行っている。 ・職員も一緒に食事をしたり、食事介助の職員が楽しい雰囲気作りを行っている。		・更に詳細にアセスメントをし、入居者様同士が自分たちで協力して食事を作れるように支援していきたい。
52 本人の嗜好の支援  本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・利用者一人ひとりの嗜好品を把握し、食事のメニューに取り入れている。 ・健康に害のない範囲で飲酒も可能である。 ・水分補給時、好みの飲み物を提供している。 ・外出先での食事は好きな物を食べるように支援している。		・継続して取組んでいきたい。
53 気持ちよい排泄の支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄記録にて一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄の自立や保清についてカンファレンスで話し合い実践している。		・継続して取組んでいきたい。
54 入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴日は決まっているが、利用者が希望する時間に入浴できるようにしている。また、入浴日以外に入浴希望がある場合も対応している。		・継続して取組んでいきたい。
55 安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・睡眠時間や休息時間を記録し、睡眠・休息パターンを把握している。 ・快適に安眠できるように、入浴日以外の毎日、足浴を行っている。		・継続して取組んでいきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・入居時、または必要に応じて利用者様や家族より得た情報を基に詳細にアセスメントをし、カンファレンスにて、一人ひとりに合った役割などを話し合い、職員間で情報を共有し実践している。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・実際にお金が入っている財布を持っている入居者様がいる。 ・買い物代や食事代は自分の財布から支払うように支援している。		・継続して取組んでいきたい。
58 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・買物や職員の外出の機会に、気分転換も含め同行している。 ・個別に外出の希望がある時には、外出する事を優先にするように取組んでいる。 ・自由に庭の草取りをできる体制である。		・継続して取組んでいきたい。
59 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・日常的な会話から引き出している。 ・行事等で家族と一緒に外出する機会を設けている。		・継続して取組んでいきたい。
60 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の希望がある時には、ホームの電話で対応している。また、必要に応じて介助をしている。 ・毎年、大切な人へ年賀状や暑中見舞いを送っている。		・継続して取組んでいきたい。
61 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会の際には、ご本人様へ話しをする場所を確認をし、どの場所においてもプライバシーに配慮し、対応するように心がけている。 ・お部屋で過ごす時には、テーブルと人数分の椅子を準備し、お茶とお菓子を出してもなしている。		・継続して取組んでいきたい。
(4)安心と安全を支える支援			
62 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束についての外部研修会へ参加し、ホーム内での勉強会を実施することにより、身体拘束のないケアを実践している。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関の鍵は、夜間帯の決められた時間以外は開錠しているなど、防犯上必要な部分以外には施錠はしていない。 ・玄関にセンサーを取り付け対応している。 ・居室のドアに鍵はついていない。		・継続して取組んでいきたい。
64 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・常に利用者様の所在や様子を確認・把握し、職員同士で連携しあう体制になっている。		・継続して取組んでいきたい。
65 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・保管場所に関して取り決めがあり、環境委員会・食事管理委員会・医療管理委員会を中心に、状態に応じた対応が出来るように全職員で検討し、取組んでいる。		・継続して取組んでいきたい。
66 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・個々の利用者において、日常的に想定されるリスクを話し合い、対応できるように心がけている。 ・リスクマネジメントに関する勉強会を実施している。		・継続して取組んでいきたい。
67 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・緊急時の対応マニュアルがあり、緊急時でも見やすいように掲示している。 ・全ての職員が救急救命の講習を受けている。 ・管理者は応急手当普及員の資格を持ち、勉強会を実施している。		・継続して取組んでいきたい。
68 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・日中・夜間を想定し、利用者様参加による避難訓練を実施している。 ・消防隊員の指導の下で消防訓練を実施し、協力体制を構築している。 ・消防団主催のお祭りに参加し、日頃から消防団と交流がある。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・起こりうるリスクに関して、面会時やホーム便り、電話等で家族へ説明し、理解を得ている。 ・ケアカンファレンスにてリスクの対応策を話し合い、全職員で情報を共有している。		・継続して取組んでいきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日常的に顔色や表情を観察し、早期発見できるように心がけている。 ・体調の変化があった時には、記録にて申し送りをし、職員で情報を共有している。 ・常勤の看護師へいつでも連絡が取れる体制であり、必要に応じて医療機関の受診をしている。		・継続して取組んでいきたい。
71 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の内容をファイリングしており、いつでも確認できる体制にある。 ・カンファレンス時に確認し、職員間で情報を共有している。 ・薬について不明な事があれば、取引先の薬剤師に直接連絡し、相談できる体制である。		・継続して取組んでいきたい。
72 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・便秘の原因を理解し、出来るだけ服薬しないで排便できるように牛乳を提供したり、運動を促す等の対応を行っている。 ・医師や看護師に相談し、取組んでいる。		・継続して取組んでいきたい。
73 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、個々に状態に応じた支援を行っている。		・清潔の保持だけではなく、口腔ケアの重要性を認識し、実践していきたい。
74 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・おおよそのカロリーを計算し、管理栄養士の指導の下でメニューを作成している。 ・水分・食事摂取量の管理が必要な方は記録をしている。 ・その方の状態に応じた食事(刻み、トロミ、ミキサー)を提供している。 ・食事の時間以外にでも、要望があればすぐに食事を提供できる環境である。		・継続して取組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防・対応マニュアルがある。</li> <li>・外部研修に参加したり、マニュアルに基づき勉強会を行っている。</li> <li>・インフルエンザに関する情報を家族へ文書で通知している。</li> <li>・日常的に感染予防を行うように、会議などで話している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
76 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台所や調理器具を清潔に保つ為の取り決めがあり、定期的に清掃を行っている。</li> <li>・食材は調理日の3日～4日前に購入し、定期的に賞味期限を確認している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
77 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の咲いたプランタを設置したり、季節毎に表札を交換し、明るい雰囲気作りをしている。</li> <li>・利用者と一緒に、定期的に玄関清掃を行ったり、草取り、雪かき等も行っている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
78 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で生活してる事を認識できるように、自分で出来る事は自分で行うように個別に支援している。</li> <li>・家庭的な雰囲気に配慮した設備や備品を使用している。</li> <li>・日差しが強い時には、カーテンで調整している。</li> <li>・季節毎に掲示物を作成し、掲示している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>
79 共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール内にソファを設置し、気の合った利用者同士が座れるスペースを確保している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して取組んでいきたい。</li> </ul>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>80</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・入居時や入居後に、必要に応じて自宅から馴染みの物品を持ってきてもらうように説明している。</p> <p>・自分のお部屋は自分で掃除をする(できる範囲)など、自分で居心地の良い空間をつくれるように個別に支援している。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>81</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>・定期的に換気を行ったり、扇風機、ストーブ、加湿器、除湿器を使用し温度調整を行っている。</p> <p>・各居室へ湿温計を設置し、利用者様に確認してから換気や室温調整を行っている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>82</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・安全性に考慮し、必要な箇所に手すりを設置している。また、利用者様の状態に合わせ、お部屋に畳を敷いている。</p> <p>・車椅子や歩行器、シルバーカーを使用し安全に配慮し、自立した生活ができるように取組んでいる。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>83</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>・希望者のみ居室の扉に表札をつけている。また、トイレや浴室に目印をつけている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>
<p>84</p> <p>建物の活用</p> <p>建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>・縁側に座って、ゆっくり話をができるようになっている。</p> <p>・庭に花壇があったり、敷地内に畑を作り、種まきや苗植え、収穫を行っている。</p>		<p>・継続して取組んでいきたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に 印をつけてください)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・利用者様の自立した生活を考え、できない事を支援するように実践しています。
- ・職員一人ひとりがホーム内での役割を持っており、責任を持って取り組むような体制をとっています。
- ・経営者を含め職員の間関係が良好に保たれており、利用者や他の職員に対しても思いやりを持って対応するように心がけています。
- ・医師、看護師、薬剤師との良い連携が保たれています。
- ・古民家を改装したホームである為、ハード面においても家庭的であり、馴染みやすい環境です。